

## 第1回科学の甲子園ジュニア全国大会 開催概要

### 1. 目的

科学の甲子園ジュニアは、理科、数学等における複数分野の競技に協働して取り組むことを通じて、全国の中学生が科学の楽しさ、面白さを知り、科学と実生活・実社会との関連に気付き、科学を学ぶことの意義を実感できる場を提供することによって、科学好きの裾野を広げるとともに、未知の分野に挑戦する探究心や創造性に優れた人材を育成することを目的とする。

### 2. 全国大会の名称

名称を「第1回科学の甲子園ジュニア全国大会」とする。

### 3. 全国大会の実施・協力体制

主催：独立行政法人科学技術振興機構(JST)

共催：全国中学校理科教育研究会

後援：文部科学省、東京都教育委員会(申請予定)

その他、都道府県教育委員会等の関係機関の協力を得て開催する。

### 4. 場所

国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区代々木神園町 3-1)

### 5. 開催日程

①平成25年12月21日から22日までの2日間の日程で全国大会を開催する。

②大会のおおまかな日程は以下のとおりとする。

12月21日(土) 午後 開会式・オリエンテーション、交流会

12月22日(日) 午前 筆記競技、実技競技

午後 エキシビション、表彰式、閉会

(遠方からの参加は12月23日(月)解散)

### 6. 出場チームの選考

各都道府県教育委員会は各都道府県の全国大会出場チームを選考する。その選考方法は各都道府県教育委員会に委ねる。

### 7. 出場チームの構成員

①出場チームは中学1、2学年の生徒(中等教育学校前期課程にあっては同年次の生徒)で構成する。

②出場チームの員数は6人とする。

### 8. 競技の種類

①大会競技は筆記競技と実技競技からなる。

②理科・数学等の複数分野において、実生活・実社会との関連、融合領域に配慮した出題とし、生徒

の修得済みの知識に加えて、競技に必要な新たに示された情報を統合することで課題を解決する内容とする。

- ③実技競技は、ものづくりの能力、コミュニケーション能力等を用いて課題を解決する力を競うものとする。

#### 9. 競技の形式

- ①筆記競技、実技競技ともに、各出場チームが競技ごとに定められた人数からなる競技チームを構成し、課題を分担、相談するなど協働して、その成果を競い合う形式のものとする。競技数、競技者数及び競技時間は以下の通り。

種目	競技数	競技者数	競技時間
筆記競技	1 競技	6 名/1 競技	70 分程度
実技競技	2 競技	3 名/1 競技	90 分程度

- ②実技競技は、出場チームの生徒が筆記競技中に学習した内容を持ち寄って課題解決する内容のものを含むこともあり得る。

#### 10. 表彰等

- ①各競技の成績点数の合計によって優勝チームを決定する。  
②優勝チームに文部科学大臣賞を授与するほか、成績上位チームについても表彰する。  
③主催者は協賛企業を募り、その他の表彰を授与する。  
④成績上位の出場チームについては、その成績を公表する。

#### 11. 費用負担

- ①全国大会開催にかかる費用、及び、出場チームの選手及び引率教員2名の全国大会会場までの往復交通費と宿泊費等は、原則としてJSTが負担する。  
②都道府県代表選考、及び、選考された代表チームの研修にかかる費用のうち、認められるものについてはJSTがその費用を支援する。但し、都道府県にも応分の負担を求めるものとする。

#### 12. 都道府県への支援

11. ②の支援のほか、JSTは都道府県が代表チームを選考、研修できるよう、以下のような支援を行う。

- ①筆記競技、実技競技の問題の例の提供②その他選考に係る情報の提供

#### 13. 事務局及び委員会

- ①全国大会にかかる事務局をJSTに置く。  
②JSTは学識経験者から構成される科学の甲子園ジュニア推進委員会を組織し、事業の実施及び運営についての審議や助言を受ける。

以上